

J A M 政策NEWS

2012年10月1日 第2013-05号

【発行】J A M

【発行責任者】宮本 礼一

【編集】産業政策グループ

03-5860-6150

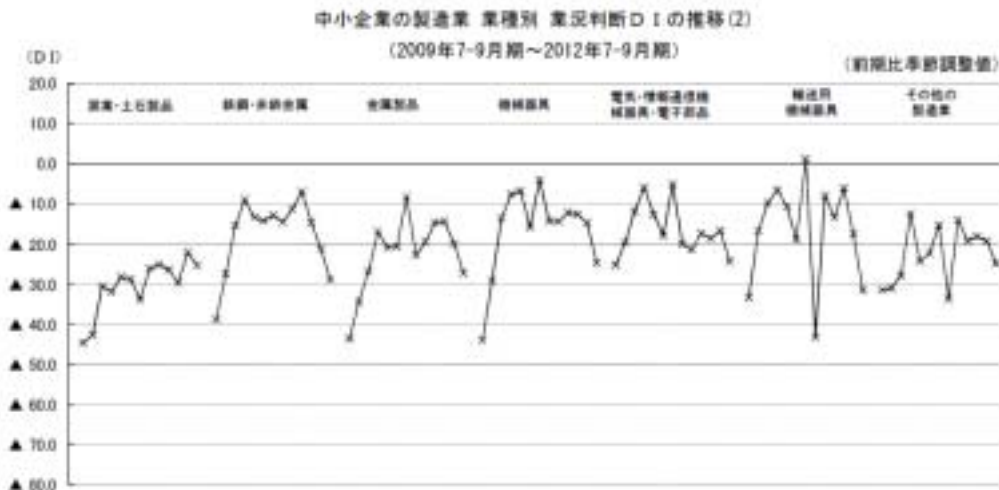
E-MAIL: seisaku.seiji@jam-union.jp

中小企業業況判断マイナス幅が拡大

第129回中小企業景況調査 7-9月期中小企業基盤整備機構調査

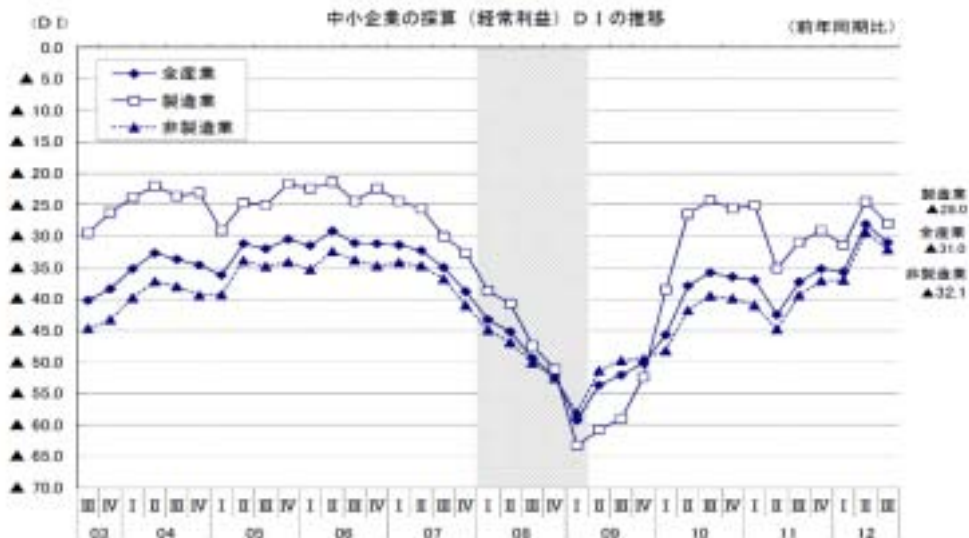
業況判断

製造業では、輸送用機械器具が 31.5 Pと前期差 14 Pとマイナス幅が大きく拡大した。化学が 23.3 P前期比 11.8 P、機械器具が 24.7 Pで前期差 10 Pとマイナス幅が拡大した。鉄鋼・非鉄金属は、3回続けてマイナス幅が拡大した。



採算（経常利益）

全産業の採算は、31 P前期差 2.9 Pとマイナス幅が拡大した。製造業は、28 P前期差 3.5 Pとマイナス幅が拡大した。



業況判断将来見通しでは、金属製品、機械器具、電気・情報通信機械器具ではマイナス幅が縮小する見通しであるが、鉄鋼・非鉄金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

多くの中小企業は、欧州危機、中国の景気動向、円高等による輸出の減退を懸念している。

レポートの詳細は、独立行政法人中小企業基盤整備機構経営支援情報センターで確認できます。